

【市議会最前線】 長野県駒ヶ根市議会の議会改革＝駒ヶ根市（長野県）

25/04/01 08:00 Ln001

駒ヶ根市は長野県南部に位置し、西に中央アルプス、東に南アルプスを望む「アルプスがふたつ映えるまち」です。市の中央を天竜川が流れ、人口は約31,000人。市議会は15名（男性10名、女性5名）の議員で構成されています。

平成26年12月に議会基本条例を制定し、令和3年度に初の評価・検証を実施。令和6年度には2回目の評価・検証を行い、明確になった課題の解決に向けて「まずはやってみよう！」の精神でさまざまな取り組みに着手しています。

コロナ禍では、委員会などをオンラインでも対応できるよう整備。令和3年からは「LINE WORKS」の導入により、議員・事務局間の通知等、情報の即時共有を図るとともに、令和5年にはタブレット端末を導入し、ペーパーレス化を推進しています。

令和2年には、市民意見を議会報編集や議会活動に反映するため、議会広報モニター制度を導入。現在3期目となり、17名のモニターから貴重なご意見をいただいています。

常任委員会では市民団体との意見交換に加え、令和6年からは予算の事前検証や決算の事後検証に向けて、市が実施する施策の現在地を横断的に把握しようと「ツキニミーティング」を開始しました。議員同士の対話機会を増やすことも目的とし、市役所以外で開催する、服装自由、沈黙歓迎、結論出なくてOKなど、独自ルールのもと、月2回を目標に実践しています。

また、課題となっている議員間討議のきっかけづくりとして、予算・決算特別委員会後に「クールダウンミーティング」と称し、全議員が自由討議する中で審議を深める努力をしています。

近年では主権者教育の一環として、議員有志による「ワクワク未来部会」を中心に、市立東中学校2年生全員と協働した「こども未来会議（中学生議会）」をはじめ、市内小学生の議場見学や議場スピーチなどを企画しています。

令和6年には、県立赤穂高校3年生全員と協働し「高校生未来会議」を開催しました。ワークショップを通じ、当市の現状や課題を把握する中で、高校生が解決方法をプレゼンし、最終的にアイデア選挙により選出された代表5グループが議員に向け議場において政策提言のスピーチを行いました。

さらに令和6年に、議員発議による駒ヶ根市政治倫理条例を制定し、議員自ら襟を正すとともに公正で民主的な市政の発展に寄与することを明示しました。

これまでの取り組みにより、当市議会は市民との対話を深め、議会の機能向上に努めてきました。しかし、時代の変化とともに求められる議会の役割も進化し続けます。今後も、より開かれた議会を目指し、市民の皆さまとともに課題を共有し、解決に向けた議論を重ねながら、さらなるレベルアップを図ります。（了）



ツキニミーティング



高校生未来会議